

# 自己評価報告書 学校関係者評価報告書

(令和6年度)

愛知産業大学三河高等学校  
通信制課程 単位制

I 学校概要	3
	4
II 教育目標	
(1) 学校法人 愛知産業大学建学の精神	4
(2) 愛知産業大学三河高等学校通信制課程（単位制）の教育目標	4
(3) 愛知産業大学三河高等学校通信制課程（単位制）の教育指導方針	4
○スクールポリシー	5
III 重点目標の達成及び改善方策	6
(1) 学習指導	6
(2) 生活指導	6～7
(3) 進路指導	7
(4) 生徒相談	7
(5) 生徒募集	8
(6) 総務	8
(7) 校務・事務関係	9
IV 本年度の具体的な取り組み	10
V 来年度の具体的な取り組み予定	10
VI 今後の方向性	10～11
生徒アンケート 集計結果	12～13
保護者アンケート 集計結果	14～15
保護者コメント（要望）	15

## I 学校の概要

(1) 学校名 愛知産業大学三河高等学校

(2) 課程・設置科 通信制課程・普通科

(3) 所在地

〒444-3525

愛知県岡崎市藤川町西川向1-20

TEL: 0564-48-5230 FAX: 0564-48-8775

ホームページ: <https://asu-mikawa-tani.jp>

(4) 沿革

昭和58年 三河高等学校の創立が認可され、校舎を岡崎市字原山12番地の10に置く。

昭和58年 三河高等学校を開設。全日制課程の普通科と電気科を置く。

昭和60年 三河高等学校の全日制課程に情報処理科と通信制課程を設置する。

平成3年 愛知産業大学の設置が認可され、校舎を岡崎市字原山12番地の5に置く。

平成7年 三河高等学校の校名を愛知産業大学三河高等学校に改称する。

平成10年 愛知産業大学三河高等学校に単位制（普通科）を設置する。

平成16年 愛知産業大学三河高等学校の単位制新校舎が完成。  
現在に至る

(5) 通信制課程の構成

学年制の生徒が在籍する技能連携校（専門学校高等課程）と本校独自の単位制で構成されている。

学年制は普通科であり技能連携を結ぶことによって、専門学校の単位を本校の単位として認定、年回3回のスクーリングを本校で行い高等学校卒業資格を与えることができる。

本校単位制普通科には、2つのコース（午前コース・午後コース）を設けている。

また、午後コースは少人数制授業（15人前後）を行っている。通学型通信制で大学生のように自分で選んだ授業を受講し、3年間で74単位取得することで通信制の卒業資格を得ることができる。

(6) 技能連携校、及び学科構成

名古屋情報専門学校 高等課程	普通科
あいちビジネス専門学校 高等課程	普通科
西尾高家政専門学校 高等課程	普通科
名古屋調理師専門学校	普通科
専修学校東洋調理技術学院	普通科
豊橋情報ビジネス高等専修学校	普通科
大岡学園ファッション文化専門学校	普通科
あいち情報専門学校 高等課程	普通科

(7) 生徒数及び教職員数（令和6年5月1日現在）

	単位制普通科		学年制普通科		合計
	男子	女子	男子	女子	
1年生	47	51	407	123	628
2年生	48	54	389	99	590
3年生	56	58	391	103	608
合計	151	163	1187	325	1826

教職員数 17名（含：兼務） 校長（兼務） 教頭 教員9名 兼任3名  
精神保健福祉士1名 事務職員2名

## II 教育目標

(1) 学校法人 愛知産業大学建学の精神

**豊かな知性と誠実な心を持ち 社会に貢献できる人材を育成する**

(2) 愛知産業大学三河高等学校通信制課程（単位制）の教育目標

本校通信制課程単位制は、転学希望生徒や高校中退生徒の再チャレンジの場として、また不登校気味中高生の成長の場として、高校卒業資格の取得を第一目標に指導している。また、卒業後の進路指導についても力を入れている。

(3) 愛知産業大学三河高等学校通信制課程（単位制）の教育指導方針

単位制の生徒は、中学校時に不登校であった生徒、他の高等学校からの転入学生、学び直しを希望する編入学生で構成されており、個性豊かでいろいろな問題を抱えているが、その目標は「高等学校卒業」である。その希望に応えるため、家庭との連絡を密にして意欲と自覚を促し、単位取得と退学防止をはかる。また、わかりやすい学習指導、進路指導、悩み相談を行い、将来のために次のステージへ繋げる。

# スクールポリシー

愛知産業大学三河高校通信制

## 1. 育成を目指す資質・能力に関する方針

「豊かな知性と誠実な心を持ち、社会に貢献できる人材を育成する」ことを教育方針とし、転学生徒や高校中退生徒の「再チャレンジの場」として、また不登校気味中高生の「成長の場」として、高校卒業資格の取得を第一目標に指導しています。また、卒業後の進路指導についても力を入れています。

## 2. 教育課程の編成及び実施に関する方針（単位制）

○登校型の通信制高校として取り組んでいます。（狭域性＝県内居住の人に限りです）

- ・登校 週2日を原則としています。
- ・授業 対面授業を実施しています。各授業ごとにレポートを提出してもらいます。
- ・時間割 大学生のように決まった時間割表の中から自分で選べます。

（教員のサポートあり）

- ・コース 2コースの設定（午前コース、午後コース）  
午後コースは不登校や人間関係の苦手な生徒のコースで、「少人数授業(15人前後)」を実施しています。
- ・修得単位数 3年間で74単位取得することで通信制の卒業資格を得ることができます。

## 3. 入学者の受け入れに関する方針

不登校や人間関係で悩む生徒が増加しつつある近年において、少しでも再チャレンジの場を与えることを念頭に受け入れ態勢を整えています。

- ・高校生（転学、編入学）

在学中に不登校・成績不良での原級留置・その他の理由で転学を希望する者や、一旦退学した生徒で高校卒業の資格を求める者を受け入れています。

- ・中学生（入学）

不登校や体調不良などで希望する全日制高校への進学ができない生徒を受け入れています。

- ・社会人（入学）

一般の社会人でも高卒資格の必要な人、また「生涯学習」の一環として高卒資格のない年長者の受け入れもしています。

○少しでも前向きに取り組もうとする意欲があれば受け入れています。

○「通信制高校は自由」とのイメージから生活面に問題のある生徒が集まる傾向にありますが、本校ではお断りしています。

### III 重点目標の達成及び改善方策

○評価方法 各重点項目に対して、1点から3点で評価する。

良い…3点	普通…2点	悪い…1点
どちらでもない…評価しない		

○評価対象 本校通信制教職員（11名）

#### (1) 学習指導

重点項目	教員評価
① 各科目の単位修得率を向上させる努力をする	3
② 生徒の基礎学力向上に努める	2.4
③ 「よくわかる授業」の実践を心がける	2.8
④ 授業中のマナー指導の徹底（携帯電話・居眠り等）	2.6
⑤ 授業におけるICT機器活用	2.4
⑥ 効果的な総合探究の授業の提供	2.4

#### 【課題及び改善】

- ・転入学してくる生徒の「質」が以前より変化しており、態度不良の生徒はほとんどいなくなったが、学力差が顕著になってきた。特に学力の低い生徒への対応が大切になってきた。学びなおし講座などを有効に活用したい。（根気よく対応）
- ・中には学習習慣が確立していない生徒が多く、少しでも興味を持たせる授業を展開して基礎学力の向上に繋げたい。（自信を持った生徒は伸びる）
- ・欠時オーバーによる不認定者が昨年より増加しており、その多くは家庭生活に問題がある場合が多い。ただ、保護者の協力・理解を得るのも難しい状況である。
- ・スマホ持ち込みは許可しているが、授業中の使用は皆無となっている。
- ・教育機器（ネット回線・タブレット導入など）の充実によりICT機器の活用が本格化した。今後は各教員が一層研鑽に励み様々な場面での活用に繋げたい。
- ・総合的な探究（総合学習）は年々内容の濃い講座が増えており充実している。次年度からは「進学」・「就職」の講座を必須とし、進路への意識を高めたい。
- ・社会のニーズに対応するため、通信制での「新しい学び方」の構築に努めたい。
- ・技能連携校スクーリングは、教材充実により少しでも満足を与えたい。

#### (2) 生活指導

重点項目	教員評価
① 登校時のマナー指導	2.8
② 校内外巡視による喫煙防止を図る	2.7
③ 生徒に登校日を把握させる努力をする	2.8

### 【課題及び改善】

- ・ここ数年大きな問題もなく推移している。入学生徒の条件を生活面で厳しくしたことが功を奏している。以前の悪いイメージを払拭したい。
- ・登下校の規定に原付を含むバイクは全面禁止（成人は別）としたことで、以前のような問題はなくなった。
- ・先生方による1号線登下校指導や、全日制定期試験中における藤川駅指導などにより喫煙行為やその他のトラブルも未然に防ぐことができている。
- ・生徒、保護者との連絡ツールに「LINE」を導入してことで、個別の対応が可能となりきめ細かな対応が可能となっている。（登校日の把握・連絡に役立っている）

### （3）進路指導

重点項目	教員評価
① 進学希望者に対するサポート	2.9
② 就職希望者に対するサポート	2.9
③ 進路説明会等への参加を促す	2.7
④ 生徒の進路を把握する	2.7

### 【課題及び改善】

- ・今年度も国公立大学の合格者を出すことができ3年連続となった。大きな要因は進学校からの転学生増加と進学指導の充実にある。担当者が巧みに全日制との連携を図ったことが大きい。この流れを今後も続け、本校の新しい評価に繋げたい。
- ・愛産大への進学数が期待したほど出ず高大連携のあり方を再考したい。
- ・いい加減な気持ちで学校斡旋での就職を希望する生徒・保護者が存在し、その対応に苦慮した。毅然とした対応が大切である。
- ・次年度からは必須科目である「総合探究」の講座に進学・就職を開講し、全生徒にどちらかを受講させる体制とした。自らの正しい進路の在り方を自覚させたい。

### （4）生徒相談

重点項目	教員評価
① 不登校生徒等へカウンセリングを促す	2.2
② 欠席過多の生徒への家庭連絡を適切に行う	2.9

### 【課題及び改善】

- ・ここ数年の生徒数増加の大きな要因は不登校生徒の増加であり、今まで以上に生徒相談の重要性が増している。「心の病」を持つ生徒への対応を一層丁寧したい。
- ・保護者との連携や前籍校からの資料などを有効に活用にして対応したい。
- ・次年度から養護教員が配属されるため、カウンセラーと連絡を取りながら一人でも多くの生徒・保護者の救済に繋がれば幸いである。

### (5) 生徒募集

重点項目	教員評価
① 年間目標入学者数を確保する努力をする	2.3
② 学校説明会を計画的・効率的に実施する	2.8
③ 退学者を少なくする努力をする	2.7
④ 高校や中学校との連携をしている	2.8
⑤ 合同説明会に参加する	2.8

#### 【課題及び改善】

- ・ 募集の主眼を高校生の転編入から、中学からの新入学に変更したことで、徐々に新入生数が増加傾向にある。3年間の経費納入を考えると影響は大きい。
- ・ 特に中学校では通信制高校も進路選択の一つとなっており、全国的にも通信制高校で学ぶ生徒は激増している。中学校の先生方への周知が急務となっている。
- ・ 中学校訪問を一層充実させて、中学校側が真に求める募集活動を展開したい。
- ・ 退学者数は一桁台で留まっているものの、中には本人・保護者ともに連絡が取れないケースもあり、家庭訪問などを実施しても無駄に終わってしまうケースがある。アルバイトに没頭してしまう生徒は学校から気持ちが離れやすい。
- ・ 校内外問わず説明会における女性教員の動員（活躍）を増やしたい。

### (6) 総務

重点項目	教員評価
① 省エネを推進し、エネルギー委員会の目標値「前年度比1%」となるよう努力する	2.1
② 教室整備と校内外美化に努める	2.7
③ ホームページの有効活用	2.6

#### 【課題及び改善】

- ・ 省エネに対する意識は全教職員共通の課題ではあるが、中々完璧にはできないのが現状である。特に冷暖房に関しては空き教室でのスイッチオフが徹底されていない。管理職を含め各教職員の自覚を一層促したい。
- ・ ここ数年の校舎や教室内環境の改善と、各教室に小型掃除機が設置されたこともあり先生方の美化意識と相まって比較的清潔な環境が整っている。  
一方校舎周辺の整備は年々樹木の成長もあり困難になりつつあるため、可能な範囲で購入機材を活用して整備に努めている。近隣住民との関係にも注意を払っている。
- ・ HPのあり方が広報として大きな影響力を持つため、学校生活の様子や募集に関する情報などを頻繁に掲載・更新することが求められている。そのためには一部の担当者任せではなく全教員が前向きに取り組んで、様々な話題の提供を促したい。  
「本校の第一印象はHPから」という認識で取り組みたい。

(7) 校務・事務関係

重点項目	教員評価
① 業務の効率化を図り、残業ゼロを目指す	2.7
② 入学相談等入学に関する情報や生徒情報等を適切に管理する	2.6
③ teams等を活用し、データの管理を適切にしている	2.8

【課題及び改善】

- ・「働き方改革」の浸透により教職員の定時退出が徹底されている。
- ・全日制での部活指導や補習授業などの勤務時間も適切に管理している。
- ・現在新しい教務システムの導入が検討されており、令和7年度中には県外視察も計画されている。令和8年度からの導入に繋がりたいが、これまで膨大な時間と労力を費やしている在校生と連携校生徒のデータ管理の効率化・軽減化になれば幸いである。  
一方、在校生の場合は担任との連携で対応することが肝心である。  
ただ、一部の連携校での業務の遅れ（不理解）があり苦慮している。  
連携校に対しては、常に懇切丁寧な対応を心がけたい。
- ・多くのご家庭で利用されている各補助金については、大きな変更期を迎えている。  
正確な情報を提供して対応するが、必要書類の提出が守れない保護者に対しては時として毅然とした対応で臨むこともやむを得ない。
- ・システムの開発には専門知識のある人材が不可欠であることから、DX推進室との連携を検討したい。

#### IV 本年度（令和6年度）の具体的な取り組み

体験学習講座新設…新講座導入（ゲーム、ものづくり：電波学園や企業様との協力）  
進学のための奨学金制度説明会の実施・・・4月22日実施  
校舎外美化活動の充実（樹木の伐採等）・・・購入機材の有効活用  
ICT機器の充実（校内Wi-Fi設備の検討、ICT教育の準備）  
2階教室（パーテーション設置）の有効活用・・・少人数講座、など  
学校ホームページの有効活用  
学校説明会、外部説明会、学校訪問（高校・中学校）への積極的参加  
国際コミュニケーションコース、公務員講座の開講・・・姉妹校との連携  
技能連携の増設の取り組み、姉妹校通信制との協力体制の構築  
1，2年生対象職業別ガイダンス・・・1月31日実施  
校外学習（レクリエーション）の実施・・・ガラス工房体験、マス釣り・かき氷体験  
入試方法の全面的改正・・・個別試験→統一試験へ（公正入試の実現）  
教科書購入の変更・・・手渡し方法から宅配方法へ（代金振り込み）  
経費変更（令和7年度より）・・・技能連携校とともに変更 補助制度の有効活用

#### V 来年度（令和7年度）の具体的な取り組み予定

面倒見のいい通信制高校（学びなおし、各講座、進学・就職指導の充実）  
教育活動の充実および学校行事のさらなる充実（課外活動の企画・実施）  
<例>長島スパーランド（バス予約済）、その他行事の企画実施  
ICT環境整備など教育施設拡充によるさらなる生徒数確保への取り組み  
教育環境整備として、空調機の改修、全館トイレのウォシュレット化  
名古屋たちばな高校通信制と本校通信制の技能連携校業務等の共通化・共有化を検討  
学校訪問や学校説明会の充実検討および広報費を見直し、効率的な生徒募集の実践  
技能連携校の新規開拓  
ネット出願への変更取り組み（令和8年度入試より）  
教務システムの整備（自前システムから市販システムの導入検討）

#### VI 今後の方向性

##### 本校通信制課程単位制

- ・近年の不登校生徒や精神的な要因で修学が厳しい生徒の増加傾向に伴い、全国的に通信制高校の需要が高まっている。県立高校でもその対応策として一部の高校では単位制の制度が導入されるなど、様々な動きが起きている。
- ・本校では以前の「誰でも受け入れる体制」から「真面目に取り組む生徒を受け入れる体制」へとシフトして数年になる。確かに一時と比べ転入学生徒数は減少したが、進学校と言われる高校からの転学者は微増傾向にある。この傾向を大切にして今後はさらに社会の評価を高めるべく努力を続けたい。

### **技能連携校（8校）**

- ・現在8校と技能連携を締結して専門学校卒業と同時に「愛産大三河高校の卒業資格を得ることができる」として、例年多くの生徒を迎えている。
- ・連携校としての本校の役目は、少しでも高校卒業に相応しい知識と技能を身につけて高校卒業の資格を与えることである。そのためには年3回のスクーリング授業の内容を充実したものにする必要がある。基本的にはNHK高校講座を用いた映像授業が基本となるが、常に授業内容には研鑽を重ねながら満足してもらう授業の実践に取り組みたい。
- ・一方でさらなる収益のために連携校増加の取り組みも責務であると認識している。

# アンケート調査

## 令和6年度 生徒アンケート 集計結果

評価欄

5：当てはまる 4：やや当てはまる 3：どちらでもない 2：やや当てはまらない 1：当てはまらない

評価観点	5	4	3	2	1
<b>生徒自身（現状）への質問</b>					
1. スマホをついついみてしまう	53%	27%	8%	3%	9%
2. 夜更かしをしてしまうことが多い	41%	37%	14%	8%	0%
3. 保護者とよく話をする	47%	31%	16%	5%	1%
4. 将来について考えている	33%	41%	21%	4%	1%

**【考察】** ・スマホと夜更かしは近年の社会現象であるが、学校生活への影響を極力避ける対応が必要となっている。特に授業のない日は要注意である。  
 ・年齢とともに親との会話も減る傾向にあるが、精神的に懸念のある生徒が少なくない本校では保護者との関わりが大きく生徒に左右することを念頭に、保護者に理解と協力を求めたい。

評価欄

5：とてもプラス 4：ややプラス 3：わからない 2：ややマイナス 1：とてもマイナス

評価観点	5	4	3	2	1
<b>学校生活について①</b>					
1. 生徒の個性を尊重している	45%	29%	21%	4%	1%
2. 学校とのコミュニケーション (LENEや電話などの連絡)	39%	36%	23%	3%	0%
3. 授業の難易度の適切さ	40%	42%	12%	5%	1%
4. 授業のわかりやすさ	39%	44%	12%	3%	2%

**【考察】** ・連絡方法が絆ネットからLINEの導入により、個々の連絡がより確実となった。一部で未登録があるものの有効に活用し連絡漏れのないように努めたい。  
 ・授業については我々教壇に立つ者にとっては生涯の課題である。通信制であることで軽視や許されない。日々研鑽を重ねより良い授業の展開に繋げたい。

評価観点	5	4	3	2	1
<b>学校生活について②</b>					
5. 校外学習の内容	15%	17%	65%	3%	1%
6. 教育環境（校舎の設備など）	45%	41%	12%	1%	1%
7. 校内の安全性（防災対策など）	24%	22%	51%	1%	1%
8. 教員への親しみやすさ	33%	45%	18%	2%	2%

- 【考察】
- ・ R6年度に2カ所への校外学習を実施し参加者には好評であったことを念頭に、次年度からはさらに充実化を図りたい。将来的には「修学旅行」に繋げたい。
  - ・ 保健体育の授業内（必須科目）で防災対策動画の視聴が導入されており、基本的にはほとんどの生徒に防災に関する意識を持たせている。防災訓練の実施も検討したい。
  - ・ 基本的には「声かけ」意識を持って対応することで、活発化する生徒も少なくない。

評価観点	5	4	3	2	1
<b>学校生活について③</b>					
9. 授業内におけるICT機器の活用	23%	35%	39%	3%	0%
10. 生徒の相談ごとに優しく対応している	31%	40%	27%	1%	1%
11. 進路指導の充実（就職・進学）	31%	40%	27%	1%	1%
12. HPで情報発信をしている	29%	32%	34%	5%	1%

- 【考察】
- ・ ICT機器の導入で教育機器が充実したため、今後は更なる有効活用を目指したい。
  - ・ 女性教員の増員で生徒との距離が近くなっている。気軽に相談できる体制を構築したい。次年度養護教員（女性）の配属も決まっており生徒対応に生かしたい。
  - ・ HPに学校行事を頻繁にアップするように努めているが、内容の更新が遅れがちになることがあり猛省したい。常に最新の情報提供に努めたい。

将来の目標（複数回答可）	高校卒業	就職	進学	進学	アルバイト
			大学・短大	専門・大専校	
	23%	45%	37%	32%	1%

- 【考察】
- ・ 年々進学希望者が増加傾向にあり、担当教員のきめ細かな対応で全日制と変わらない指導ができています。3年連続で国公立大学合格者を出したことは特筆したい。
  - ・ 将来の目標を設定することで、学校生活に前向きになる生徒も多いことから、進学、就職共にガイダンスなどの行事を積極的に取り入れたい。

## 令和6年度 保護者アンケート 集計結果

評価欄

5：とてもプラス 4：ややプラス 3：わからない 2：ややマイナス 1：とてもマイナス

評価観点	5	4	3	2	1
1. 生徒の個性を尊重している	46%	26%	26%	1%	0%
2. 学校とのコミュニケーション (LENEや電話などの連絡)	50%	39%	10%	2%	0%
3. 授業の難易度の適切さ	26%	29%	39%	6%	1%
4. 授業のわかりやすさ	19%	34%	42%	3%	2%
<p><b>【考察】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年は「コミュニケーション」に問題のある生徒の入学が増加していることを念頭に丁寧な対応を心掛けている。心配な生徒には「声掛け」を心がけている。</li> <li>・今年度よりLINEの導入により連絡が密に取れるようになった。</li> <li>・教育機器を有効に活用するなど、日々授業内容の研鑽に努力したい。</li> </ul>					
評価観点	5	4	3	2	1
5. 校外学習の内容	18%	21%	55%	6%	1%
6. 教育環境（校舎の設備など）	30%	43%	23%	3%	1%
7. 校内の安全性（防災対策など）	20%	25%	55%	0%	0%
8. 生徒から教員への親しみやすさ	26%	46%	24%	3%	0%
<p><b>【考察】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度校外学習（希望者対象）を実施したが参加者には好評であった。今後は恒例化して参加人数を増やしたい。将来的には修学旅行に繋げたい。</li> <li>・全室LED化、校舎前面塗装などで教育環境は改善されている。</li> <li>・若手、女性教員の配置で親しみやすい環境が整いつつある。</li> </ul>					
評価観点	5	4	3	2	1
9. 授業内におけるICT機器の活用	14%	11%	73%	2%	0%
10. 生徒の相談ごとに優しく対応している	25%	40%	33%	1%	1%
11. 進路指導の充実（就職・進学）	15%	30%	51%	3%	1%
<p><b>【考察】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクター、iPadなどの導入で整備された機器を有効に活用したい。</li> <li>・次年度から養護教員が配属されることで相談の窓口と、希望者についてはカウンセラーとの相談体制を整備する。</li> <li>・保護者対象の進路ガイダンスなどの実施も検討したい。</li> </ul>					

本校を友人・知人に薦めたいと思うか	強く思う	思う	分らない	あまり思わない	全く思わない
	33%	37%	28%	2%	0%

【考察】 ・薦めたいと思う保護者が約70%を超えている結果に本校の存在が認められつつあることを実感する。社会のニーズは確実に増していることを全職員が認識し、更なる取り組みで「三河通信制」をアピールしたい。

## 保護者コメント（要望）

- ①友達が作れるチャンスがある授業があると学校が楽しくなりそうだと思う。
- ②授業料が安く助かっているが、コミュニティがないのがつまらない。明るく楽しい雰囲気は教員から生徒に伝染するので、そういう雰囲気作りをしてほしい。個人面談をたくさんやってほしい。授業も受けるだけだとつまらないと言っている。疑問があるが先生に言えない。申し訳ないですが、そういうことを聞き出して一緒に叶えてもらおうと助かる。
- ③中学では不登校でしたが、自分のペースで無理なく通えることや先生方が寄り添ってくれることで今のところ無欠席で頑張っています。
- ④入学前から電話も対応が良く、窓口に行ってもいつも事務の方の対応も親切で、先生方もどの方も話しやすく、全体的に感じが良くて高校のイメージが変わりました。
- ⑤通信制とはいえ通学を基本とした内容で、今のところとても本人に合っているようです。
- ⑥生徒同士の交流がないため友達ができないようです。授業内でも何か話ができる機会があればと思います。
- ⑦体育館が冬とても寒いです。冬の体育の時間に暖房をつけて下さい。また、2月7日の出校日は学校に着いてから順番が来るまで随分待たされました。番号札を取ることに気付かなかった娘がいつの間にか最後になっていました。
- ⑧授業以外で自主勉強している時に先生方や事務の方皆さんで気にかけて頂き、とても有り難く思っています。安心しております。
- ⑨子供が、通えていますので大変感謝しています。事務員の方もとても感じ良い方々で、スムーズな対応をして頂けるので助かります。

【考察】 ・全日制高校と比較して地味なイメージのある通信制高校ではあるが、近年の社会情勢の変化のより入学生数が増加している。そんな中で生徒・保護者からの要望も多様化しており、単に卒業だけでなく、有意義な高校生活と満足できる進路の実現を求める時代になってきていることを痛感する。

- ・友人関係の構築を求める生徒が増えている現状を念頭に学校行事を企画したい。
- ・様々なご意見を頂きながら、社会から選んでいただける通信制高校を目指して今後も努力を続けたいと思う。